

大森洪太 （指図） 司法官。明治二十年六月十日（三重縣生乳、昭和二十一年五月）二十四日歿（八八七一—九四六）。明治四十五年東京帝國大學法科大學法律學科卒。東京地方裁判所判事・同部長、司法省參事官を経て、大正十一年混合仲裁裁判所日本政府代理人及び同審判官としてロンドン駐在。滯歐四年、歸朝後司法書記官、大審院判事、司法省民事局長を務めた。文筆を能くす。

著書に『不思議な犯罪の話』（大正十五年九月十八日清水書店）、『英國三大裁判悲劇』（昭和十一年十月十六日日本評論社）、『隨筆』、『液』、『雲』（昭和十一年十二月二十五日日本評論社）、『民族禮讚』（昭和十六年九月十九日モダン日本社）、『女性新訓』（昭和二十一年一月）、『二十日生活社』、『日本叢書』等。

